５．平成 28 年 10 月 15 日（土）　熊野神社式年大祭　資料

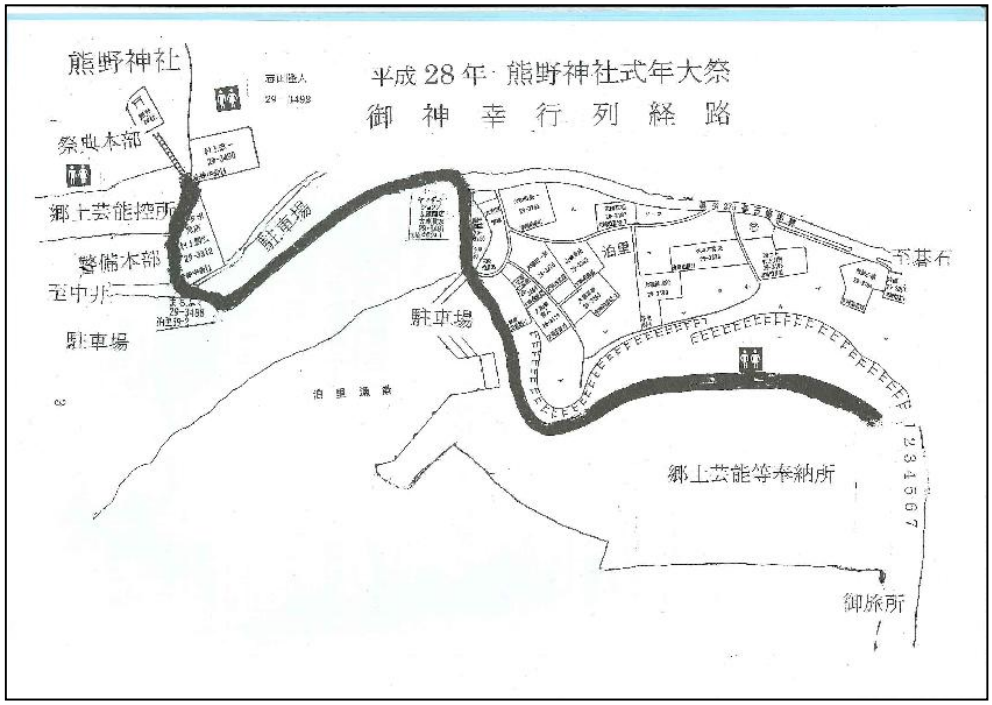
（１）中森・熊野神社式年大祭　役割分担表

宮司：志田隆人
顧問：濱守千代吉
委員長・総代長：熊谷　真
副委員長：志田　保（総務）／菊池平八郎（総務）／小松　基（会計）
祭り組実行委員長
・梅神組：細川文規　　奉納　虎舞
・小河原組：羽根川弘道　奉納　虎舞
・門中組：新沼利雄　　奉納　虎舞
・西舘組：村上征一　奉納　虎舞　子ども七福神
・碁石組：吉田力男　　奉納　虎舞　七福神
・三＋刈り：尾崎安弘　　奉納　虎舞
・山根組：磯川信一　　奉納　虎舞

熊野神社式年大祭行列順序

行き	帰り
1梅神組	1梅神組
2山根組	2小河原組
3小河原組	3門中組
4三十刈組	4碁石組
5西舘組	5西舘組
6門中組	6三十刈組
7碁石組	7山根組

（２）熊野神社式年大祭御幸行列予定時刻と経路図
7：30：受付　客殿前　御神幸行列参加関係者集合　各部署につく
7：40：各組は、受付後、到着順に社殿前で舞を奉納　8：40 まで
8：20：式年大祭祭儀　社殿　儀式関係者　御六尺
9：00：行列呼出　繰出し　儀式関係者　御六尺　奉納者　郷土芸能
10：30：御旅所儀式（泊里浜漁港）各組奉納催事披露（碁石組車で進行）
11:00：海上渡御　麻腐島折返
　　警備船
　　指揮船：丸太丸
　　八幡神社　猿田彦：榮丸
　　八幡神社　梵天：進洋丸
　　八幡神社　御召船：大浜丸／第二わかめ丸
　　熊野神社　猿田彦：第八康生丸
　　熊野神社　梵天：幸福丸
　　熊野神社　御召船：第八大浜丸／満漁丸
　　特別出演　末崎小学校児童による「良さこいソーラン」
12：00：御旅所（泊里浜漁港）下船
　　昼食　各組奉納披露　14：00 まで
14：00：御旅所（泊里浜漁港）発　行列を組み繰出。社殿還御　15：00 着



（3） 熊野神社式年大祭　用語について＞

① 御神幸行列

神社の神輿を若者たちが担いで神社を出発し、町内に繰り出し、神社へ戻る行列を御神幸行列という。神輿の前後を、神官、纏、旗、奉納舞装束、囃子方装束、稚児、婦人、山車など、ご神体をお護りする行列が連なり、厳かな中にも壮麗さと賑わいがあり華やか。出発時の儀式を渡御の儀といい、神輿へご神体を移す儀式は白布で覆われて行われる。神輿が神社に戻ると還御の儀を行う。

② 御六尺

祭りの場合の六尺とは、神輿の担ぎ手のことを指す。中森熊野神社の場合は、神輿3台と賽銭箱、塩まきなどで御六尺は 48 人とされ、各祭り組が分担した。

③ 御旅所

御神幸行列で神（神体を乗せた神輿）がお休みする場所を御旅所という。今回は泊里浜之漁港に御旅所を設けて神輿を休め、その前の広場で、神、神官、氏子総代などによる儀式が行われた。

④ 海上渡御

神（神輿）、神官、総代、御六尺らが港から大漁旗を掲げた漁船に乗り、海を進み麻腐島を折り返して港に戻り下船する。麻腐島を望む海域でいったん船を止め、神事も行われる。

⑤ 郷土芸能の奉納

それぞれの集落で先祖から伝承してきた虎舞、七福神などの郷土芸能を神社本殿前で神に捧げ、儀式関係者、住民に披露すること。一連の行事の中で奉納舞、奉納披露、舞い納、などともいわれる。

⑥ 夜籠り

式年大祭の前日の午後 6 時から翌朝の 5 時まで御六尺は本殿隣の客殿で穢れを払い、神の清めを受ける。これを夜籠り、という。以前は夜中に集落に繰り出し、各家々を回って騒ぎたてたが、近年は自粛されている。

⑦ 才坊振（さいぼうふり）

扇子で踊る役。虎舞の才坊振は虎の動きを抑えたり、虎に睨まれて身構えたりする。こどもの才坊振りは祭りを彩り、かわいいい。

⑧ 直会（なおらい）

祭典終了後に行われる慰労会。祭が終わり神と飲食をともにする儀式を経て元にもどる。

⑨ 揃い（そろい）

踊り、笛、太鼓、才坊振りなど個々の練習はそれぞれ別々に繰り返して行われるが、みんなが勢揃いして行う総合リハーサル。通常、前夜に最終リハーサルを兼ねて行うことが多い。今回はみんなが集まりやすい 1 週間前の 10 月 9 日（土）に行われた。

（４）熊野神社式年大祭　写真アラカルト

・早朝　準備（碁石公民館・碁石地区コミュニティセンター）

・御神幸行列　神輿繰り出し御旅所へ　9：00～10：30

写真記録　「デジタル公民館まっさき」丸山　修・菊池則子